

## 段ボールコンポストの準備と使い方

### <材料>

- ・段ボール箱(35cm×40cm×35cmくらい)  
(底面は2重にしてください)
- ・ガムテープ(補強用)
- ・段ボールを置く通気性の良い台(苗トレー、スノコなど)
- ・虫よけの布(段ボールの上面の倍程度の大きさ)、平ゴム
- ・基材(落ち葉堆肥、園芸用土など)
- ・スコップ



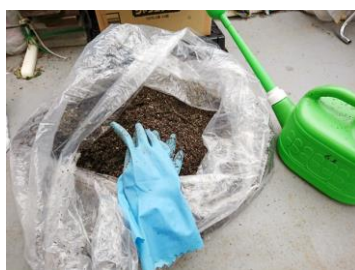
\* 米ぬかを加えると発酵が進みやすくなります。頻度は問いません。  
加える時は、生ごみや土にまぶす(ダマにならない)ように混ぜ込んでください。

### ★ 準備 ★

- ② ガムテープで箱を補強します。



- ① 袋やシートの上で基材を混ぜ、水分を足します。  
(土を握り、開くとほろほろと崩れる程度の水分量)



- ③ 箱の6分目くらいまで土を入れます。ここに、生ごみを投入していきます。



- ④ 通気性のある台に置き、  
(雨のかからない風通しのよい所)布をかけて、輪にした平ゴムで固定します。



### ★ 使い方 ★

1日1回、生ごみ(300g程度まで)を入れます。  
少し掘ったところに投入し、土としっかり混ぜ合わせてから、土で覆います。(生ごみは見えない様に)  
これを毎日繰り返します。

⇒余っていた苗トレーを上にかけたら、さらに虫が減りました。



▲3月開始コンポストの8月の状態

### ●堆肥の楽しみ方

- ・使いたい時期の1か月以上前に、生ごみの投入をストップし、時々かき混ぜて空気を含ませ熟成させます。
- ・発酵が不完全なものは、植物の成長を阻害することがあります。発酵・熟成にかかる期間は、投入する生ごみの種類、その細かさ、気温、米ぬか等の投入量、自然のバランスによります。
- ・基材の半分程度をガーデニングに活用し、残りの基材とその他の土で、生ごみコンポストを続けてください。
- ・落ち葉を堆肥化したものを基材にすると、お庭の落ち葉も併せて活用(処理)できます!

●ご不明な点は、お気軽にお問い合わせください。

●お問合せ先● **京都市ごみ減量推進会議** (公益財団法人京都市環境保全活動推進協会)



TEL 075-647-3444 (木・日・祝定休)

FAX 075-641-2971

E-MAIL [sanka@kyoto-gomigen.jp](mailto:sanka@kyoto-gomigen.jp)

HP <http://kyoto-gomigen.jp>

この印刷物が不要になれば、雑がみとして古紙回収へ